



横浜いずみ台病院は、
 地域に根ざした医療を実践してまいります。



上：ハートケアいずみ訪問看護事業所スタッフ
 左：ハートケアいずみ訪問事業所



- 1ページ もくじ
- 2ページ ハートケアいずみ、アットホームやすらぎ紹介
- 3ページ 慢性咳嗽（セキ）について
- 4ページ 新任医師紹介
- 5ページ 診療案内(外来担当医表)

ハートケアいずみ訪問看護事業所紹介

1・ステーションの理念

1. 利用者さんと家族が、住み馴れた自宅で、心穏やかに安全に過ごす事ができるような看護を提供するよう努力します。
2. 訪問看護を通じて、地域医療に貢献できるように努力します。

2・ステーション紹介

知識と経験を生かし、適切な判断に基づいたケアとアドバイスにより

在宅での療養環境を整える事に力を注いでいます

本人を支えている家族を支える事が、訪問看護の仕事の大きな役割と考えています

24時間365日対応、必要の応じ医師や関係機関と連携を取り、さまざまな在宅ケアを提案し支援・調整します。

また、終末期の看護にも取り組んでいます

3・スタッフ紹介

① 内山 隆子 管理者兼看護師

東邦大学看護専門学校卒業

東邦大学大森病院、湘南鎌倉総合病院で勤務後、訪問看護を始めて早10年。昨年まではケアマネも兼務していました。

10年やって本当に実感している事は、やっぱり在宅って素晴らしい！人がその人らしく、いきいきとしてきて、生きる力がみなぎってくるのが実感できます。そんな利用者さん、家族に逆に力をもらって、在宅生活を安心して続ける事ができるようにお手伝いしていきたいと思っています。

② 笠原 美和 看護師

岩盤浴とたまーに娘とテニスをするのが唯一の趣味です。

訪問看護には熱い思いを持って頑張っている浜っ子です！

③ 山口 明美 看護師

秋田出身の田舎者。横浜に来て、早18年が経ちました。

14年間看護師とし、働いて来ましたが、訪問看護は初めてで、戸惑う事が多い日々ですが、思いやりの気持ちを大切に、精一杯がんばっています。

④ 木村 佳子 事務

看護師さんたちがスムーズにお仕事できるようにサポートしていきたいと頑張っております。わからないことだらけですが、日々勉強しておりますのでよろしくお願いいたします。



小規模多機能 アットホームやすらぎ紹介

横浜寿光会クリニックの跡地に、いつでもデイサービスや宿泊ができる高齢者向け小規模多機能型居宅介護「アットホーム やすらぎ」がオープンしました。

当法人が運営する施設で、看護師が常勤で勤務しているため、医療ニーズの必要な方も利用可能です。また、医師による健康管理や、いずみ台病院リハビリスタッフによるリハビリ指導も行っています。

定額料金（表参照）に一泊+2,500円と食費で宿泊も可能。家族の急用時等に心強いです。

暮らしの不自由さや介護・医療に不安を感じましたら、まずお電話をください。

見学はいつでも対応可能です。

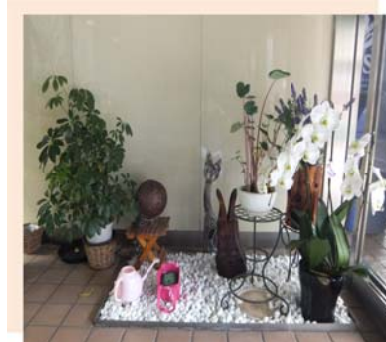
料金表

〈介護報酬 自己負担金〉

介護度1	12,185円
介護度2	17,403円
介護度3	24,823円
介護度4	27,287円
介護度5	29,976円

〈食事・宿泊代〉

朝食	400円
昼食	500円
夕食	500円
おやつ	100円
宿泊代	2,500円/泊



1ヶ月利用料金

～介護度3の方が、6日間宿泊利用、20回デイサービスを利用したときの料金～
57,223円/月

～介護度2の方が、宿泊は利用せず、25回デイサービスを利用したときの料金～
32,403円/月

～介護度5の方が、20回宿泊利、25回デイサービスを利用したときの料金～
112,976円/月

※上記金額のほかに、オムツ代等が必要となります。



慢性咳嗽について

呼吸器内科医：丸岡 教隆

近年、長い間継続する咳（慢性咳嗽）を訴える患者様が増えてきています。慢性咳嗽に関する研究の歴史は浅く、患者様にとっては大きな苦痛であるにもかかわらず、治療に難渋しているのが現状です。今回は慢性咳嗽に対する最近の考え方と原因についてお話します。

慢性咳嗽は「咳だけが長引き、咳の原因を特定できる理学所見や胸部画像所見がなく、他の病気も認められないもの」と定義されていて、結核や塵肺などの明らかな咳の原因となる病気はのぞきます。咳の継続期間は8週間以上としています。

慢性咳嗽の原因となる疾患には次のようなものがあります。

- ① 【咳喘息】 喘鳴や呼吸困難がなく、咳だけが慢性的に継続します。典型的な喘息ほどではないものの、気道の過敏性の亢進がみられます。咳の本態は気道の痙攣（ケイレン）で気管支拡張薬が効果的です。気管支喘息と同じように治療を行います。
- ② 【アトピー咳嗽】 咳喘息とよく似ていますが、気管支拡張剤が全く効かないのが特徴です。アトピー咳嗽の基本病態は咳感受性の亢進とされています。ヒスタミン H1 拮抗薬が多くの場合有効で、効果不十分の場合吸入ステロイドを使用します。
- ③ 【かぜ症候群後遷延性咳嗽】 上気道炎（かぜ）のあとに、咳だけが長くつづくようなケースが増えています。一過性の気道の過敏性亢進が原因とされています。いろいろな鎮咳薬を使いますが、無効であることも多いです。時間の経過とともに徐々に改善してきますが、咳喘息やアトピー咳嗽を合併していることもあるので、あわせて治療をおこないます。
- ④ 【副鼻腔気管支症候群】 副鼻腔炎（蓄膿）にともなって、慢性的に痰が多く（膿性痰であることが多い）、痰をだすために咳がつづくという状態です。去痰薬を中心に治療をおこないます。
- ⑤ 【胃食道逆流症】 胃酸が食道内に逆流する病態で、胃酸が食道を越え気管へ逆流することによって慢性咳嗽の原因となることもあり、プロトンポンプ阻害剤という胃酸分泌を抑制する薬剤を内服することで著明な症状の改善が得られます。

特に①、②は日本人に多く、近年増加傾向にあるため注目されています。また、④や⑤のように一見咳と関係しないような病気が原因になることもあります。上記は、いずれもレントゲン 1 枚で診断がつくようなものではなく、慎重な問診と視診・聴診、呼吸機能検査、血液検査などを総合して診断に至るものです。このため原因がわからず何件もお医者さんを変える患者様も珍しくありません。もし慢性の咳でお困りでしたら当院内科まで是非ご相談ください。

新任医師紹介

吉田憲司（よしだ けんじ）

出身大学 : 獨協医科大学 医学部

専門分野 : 消化器内科、一般内科

これまでの経歴

高校までは神奈川県内で過ごし、その後栃木県にある獨協医科大学に入学。

卒業後、消化器内科に入局し、研修医として勤務。

後に大学院へ入学、基礎研究で博士号を取り、大学院卒業。

その後は、大学病院や栃木県内の病院での勤務を経て約20年間を栃木県で過ごし、今年4月に神奈川県に帰省し、当院に勤務となる。



有村耕一（ありむら こういち）

出身大学 : 鹿児島大学

専門分野 : 消化器外科

これまでの経歴


鹿児島大学卒業後、鹿児島大学第一外科（消化器・乳腺・甲状腺外科）に入局。

その後、国分中央病院（鹿児島県）、大森記念病院（東京都大田区）、ふれあい東戸塚ホスピタル（横浜市）を経て、当院に勤務となる。

地域の皆様に必要とされるよう頑張りたいと思います。



皆様、よろしくお願ひします。



診療案内

診療科目 内科 消化器科 循環器科 小児科 外科 整形外科 放射線科
 歯科
 受付時間 月～金 AM 9:00～11:30 PM 1:30～4:30
 土 AM 9:00～11:30 PM 歯科のみ診療 (1:30～4:30)



		月	火	水	木	金	土
午前	1診	那須	丸岡	渡部	有村	有村	有村
	2診	丸岡	那須	飯澤	飯澤	那須	渡部
	3診	須藤	岡本	保坂	関野	中村	関野
午後	1診	渡部	渡部	須藤	吉田	吉田	—
	2診	飯澤	飯澤	岡本	須藤	—	—
	3診	吉田	須藤	関野	丸岡	中村	—
午前 午後	歯科	金原 風間 東	金原 風間 東	風間 東	金原 東	金原 風間	金原 風間 東

載
勤

		3-1132
--	--	--------